



枝川小だより

やればできる
自分で考え、行動し、
決める場面を多く設定しよう

まちで見つけた仕事のやりがい ～ 4～6年 Mito まちたんけん ～

2月6日(金)と10日(火)に、4～6年生11名が総合的な学習の時間において、職場見学・体験を通して働くことへの関心を高め、子供たちの将来への夢や可能性を広げることを目的に、校外学習「Mito まちたんけん」を実施しました。

6日(金)は、1班のみ4名での実施でしたが、パン工房ぐるぐる笠原店では実際のパンづくりを体験し、ものづくりの楽しさや工夫について学び、弘道館では、ボランティアの方の説明を受けながら施設の見学を通して水戸の歴史や文化について学ぶことができました。

10日(火)は、11名全員が参加し、商店や事業所、文化施設を訪問しました。徳川ミュージアムをはじめとする見学先で、仕事内容や働く方々の思いを直接伺い、子供たちにとって貴重な学びの機会となりました。

見学後には、「お話を聞いて仕事のことがよく分かった」「いろいろな職業をもっと体験してみたい」といった感想が聞かれ、働くことへの興味や意欲の高まりを感じました。19日(木)には2つの班がNHK水戸放送局、水戸芸術館、県立図書館をそれぞれ訪問し、見学及び体験活動を行う予定です。



自分の身を守る選択を ～ 薬物乱用防止教室 ～

2月12日(木)の4校時に、5・6年生を対象とした「薬物乱用防止教室」を実施しました。

県少年サポートセンターの職員や、市スクールサポーターを講師に迎えて、薬物の危険性や心身への影響について、具体的な事例を交えながら分かりやすく学習しました。

授業では、薬物のレプリカや映像資料を用いて学習を進めるとともに、誘われたときにどのように行動すればよいかについて考えました。子供たちは薬物の恐ろしさを理解するとともに、自分の身を守るために「きっぱり断る勇気」と「周囲に相談すること」の大切さを学びました。将来にわたって自分を大切に、正しい判断をする力を育てる機会となりました。



音でつながる地域の輪 ～ ふくわの集い 音楽芸能発表会 ～

2月15日(日)に、合奏団の児童が地域の文化行事「ふくわの集い 音楽芸能発表会」に参加しました。当日は、会の幕開けを飾る演奏として「ライラック」、「星に願いを」、「Little Brown Jug」の3曲を披露しました。100人を超える地域の方々や保護者の皆様から温かい手拍子をいただき、子供たちはこれまでの練習の成果を発揮し、心を込めて演奏を行いました。演奏後には、主催者の方々から「とても感動的な演奏でした」とのお言葉をいただき、子供たちにとって大きな自信と励みとなり、地域の皆様に見守られて活動できるありがたさを、改めて感じました。



既に、市教委からH&Sでご案内がありましたが、県教育委員会では、「学校問題解決支援相談窓口」を設置し、保護者や地域の方が直接横断できる窓口を設置し、よりよい解決のための支援を行っています。その一環として、保護者セミナーを下記の内容で実施しています。興味のある方は、下記のURLまたは2月10日付けのH&Sに記載のQRコードからアクセスし、ご覧ください。

演題 子どもの成長を支える保護者と教員の協働—アドラー心理学と新しい働き方の視点から—
講師 公立学校スクールカウンセラー(臨床心理士・公認心理師) 深谷 佳子氏
URL https://youtu.be/MXYh-iun_Ic